



2019年5月14日

各位

会社名 株式会社 安楽亭
 代表者名 代表取締役社長 柳 時機
 (コード番号 7562 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 安部 一夫
 (TEL 048-859-0555)

業績予想（連結・個別）と実績値との差異及び特別利益並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2018年11月9日に公表いたしました2019年3月期通期業績予想と本日公表の実績値において、下記の差異が生じたのでお知らせいたします。また、下記のとおり特別利益、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,730	220	200	50	23円38銭
今回修正予想 (B)	16,342	185	126	△103	△48円31銭
増減額 (B-A)	△388	△35	△74	△153	—
増減率 (%)	△2.3	△15.9	△37.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	16,947	348	320	149	69円80銭

2. 2019年3月期通期個別業績予想数値と実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,400	170	30	14円03銭
今回修正予想 (B)	15,003	56	△171	△80円22銭
増減額 (B-A)	△397	△114	△201	—
増減率 (%)	△2.6	△67.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	15,683	256	109	51円36銭

3. 修正の理由

(1) 個別業績予想修正の理由

2019年3月期の個別業績につきましては、新規出店の計画未達成に加え、直営店の暖簾・F C化により直営店舗数が減少したこと、暖冬傾向で鍋などの季節商品が思ったほど振るわなかったこと、さらに、店舗営業時間短縮の影響もあり、売上高は前回公表予想を下回る結果となりました。利益面では、上記売上高の減少に加え、牛肉の供給不足や価格の上昇、人手不足による人件費の上昇などコスト増加の傾向が続き、生産性の向上に向け全社的に取り組んだものの、未だコスト増加分を取り戻すまでに至っておりません。加えて、減損損失 99 百万円を計上したことにより、当事業年度における営業利益、経常利益及び当期純利益は、前回公表予想を下回る結果となりました。

(2) 連結業績予想修正の理由

主に、個別業績予想の修正に伴って修正するものであります。

4. 特別損益の計上について

(1) 特別利益

①受取保険金（連結・個別） 10 百万円

(2) 特別損失

①減損損失（連結・個別） 99 百万円
②子会社株式評価損（個別） 19 百万円
③固定資産除却損（連結・個別） 12 百万円
④賃貸借契約解約損（連結・個別） 1 百万円
⑤その他特別損失（連結・個別） 3百万円

以上